54年度の予算執行状況

（三月三十一日現在）

昭和五十四年度予算の三月三十一日現在における執行状況が告示されました。

その概要をお知らせします。

一般会計予算

一般会計予算は、十回の追加補正を行い、歳入・歳出それぞれ六十九億二千八百十六万五千円になりました。これは、当初予算六十億三千万円に対し、八億九千八百十六万五千円、率にして一四・八九％の増加でした。

歳入で追加された主なものは、市債（借入金）三億三千四百六十万円、市税二億一千九百八十三万八千円、県支出金一億一千二百六十五万円、繰越金六千四百六万一千円、寄付金四千八百五十一万九千円、国庫支出金四千四百三十万円などです。

歳出で追加補正された主なものは、土木費三億八千六百四十万六千円、農林水産業費一億九千四百十四万三千円、総務費一億五千九百七十一万八千円、教育費一億四千六十六万八千円、消防費一千七百二十一万三千円などです。

また、予算総額六十九億二千八百十六万五千円に対し、収入済額は五十六億七千五百十七万三千円で、収入済割合は八一・八％です。市税は、予算額十四億六千四百七十六万八千円に対して、十四億六百十八万円で、収入済割合は九六％になっています。

支出済額は、五十五億九千七百五十三万八千円で、支出割合は八〇・八％になっています。

◎国民健康保険特別会計

予算額 一、二三三、九五三千円

収入済額 一、二〇一、七七二千円

支出済額 一、〇〇八、三〇四千円

◎水道事業会計

収益的収支

○収入

予算額 四一二、〇六八千円

執行済額 四〇五、三七〇千円

○支出

予算額 三八二、三〇三千円

執行済額 三六八、六一六千円

資本的収支

○収入

予算額 八二四、六三四千円

執行済額 八〇五、九八七千円

○支出

予算額 八五一、〇五一千円

執行済額 八四五、四二八千円

◎地方債現在高（三月末現在）

三、三二五、四五二千円

（地方債とは、長期間にわたって返済する借入金のことです。）

◎一時借入金現在高

二〇〇、〇〇〇千円

（三月末現在）

市税の収入状況と市民の負担状況（3月31日現在）

税目	課税額	収入済額	収納率	市税の市民負担状況	
				人口1人当り	1世帯当り
市民税	千円 551,123	千円 509,507	% 92.4	円 13,107	円 54,523
固定資産税	619,738	584,163	94.3	14,738	61,312
軽自動車税	17,464	16,659	95.4	415	1,728
市たばこ消費税	133,593	133,593	100.0	3,177	13,216
電気税	52,605	52,605	100.0	1,251	5,204
ガス税	1,494	1,036	69.3	36	148
特別土地保有税	39,451	39,451	100.0	938	3,903
都市計画税	73,544	69,166	94.0	1,749	7,276
合計	1,489,012	1,406,180	94.4	35,411	147,310

盛大に完工式

五月八日新博物館で

鉄筋コンクリート平家建（高床式）の博物館が、葛塚東小学校の向かい側に完成しました。昨年の七月に着工し、今年の三月末に工事が完了したものです。延床面積一千六十四平方メートルで、特別展示室、図書室兼研究室などもあります。総事業費は、一億八千七百四十五万円で、この内訳は、電源立地交付金八千万円、石油立地交付金一千万円、起債四千六百万円、一般財源一千二百四十五万円です。

五月八日、県教育長、県博物館協議会長を含む関係者八十人余りが集まり盛大に完工式が行われました。また博物館の完工を記念して、十日から十七日まで「幕末、明治の書跡展」と題して特別展が催されました。この展示品は、宮尾正さん（大久保）が寄贈されたものです。

今後収蔵庫などを整備し、展示品をそろえ一般公開されるのは来年になる見込みです。

▶八十人余りの関係者が集まり盛大に行われた完工式

食生活改善推進員62人を委嘱

食生活改善推進員協議会の総会が、四月三十日、中央公民館で開かれました。

議事のあと、「これからの食生活推進活動について」と題して、新発田保健所岡栄養士の講演がありました。

五十五年度の事業計画として、成人病予防、貧血予防、幼児の虫歯予防の三大目標をかかげ、活動内容としては、

○循環器検診受検者に対し、食習慣アンケート調査を全会場で実施すること。同時に薄味漬物をつくって試食会をし、普及につとめる。

○早通地区を対象に貧血検査を実施し、要指導者には調理実習を行う。又、パンフレットを作成し、継続的に食生活改善につとめる。

○手づくりおやつの普及をはかり、虫歯予防につとめる。

などを決定しました。

五十五年度食生活改善推進員は次のとおりです。

五十嵐貴美子（早通南四ー会長）深井千代子（新鼻甲一ー副会長）天野ハルエ（中里山）川崎佐知子（上黒山一）斎藤雪枝（上黒山一）笹川貞子（上黒山二）斎藤芳子（下町）大橋てい子（栄町）田中六子（栄町）中村宮子（白新町一）山崎サツ子（白新町二）細川静江（白新町三）長岡久子（白新町四）風間紀美恵（下大口）栗林フジイ（常盤町）石井敏子（法花鳥屋）金田彬子（中大口）長谷川さち子（中大口）川崎道子（朝日町二）井越美枝（東栄町一）小川美代子（東栄町三）宮崎恵子（嘉山六）水沢明子（東栄町二）寺尾キヨシ（笹山）長谷川三子（笹山）川崎睦子（尾山ニュータウン）山口満子（尾山ニュータウン）大橋シヅ（尾山団地）高橋藤美江（内島見）清野美智子（鳥屋）山田シヅ（高森新田）広瀬八重子（高森）大野マスイ（長戸呂）倉島香（大久保）蒲沢政（大久保）阿部哲（大月）藤岡和枝（大月）風間ひさ子（内沼）柳栄子（長戸）田辺一枝（川西三）横山サチ子（川西三）曽我レン（上堀田）本田スミエ（新井郷）市橋奈津子（大月）森岡ムツイ（川前）長谷川ミチ子（新井郷）相馬陽子（浦木）曽我哲子（上堀田）星野ミツ（新井郷）三膳キクエ（早通南一）亀田篤子（早通南二）笠原テル（早通南四）酒井シズイ（早通南一）中原敦子（早通南二）本間美智子（早通南二）長谷川富（早通南二）渋谷ヨシコ（早通南三）長谷川京子（早通南四）臼杵久美子（早通南五）阿部洋子（早通南五）水戸部久子（早通北二）五来静枝（早通北三）

坂井さんらを表彰

ー納税組合長功労ー

永年納税組合活動に尽力し納税成績の向上に功労のあった二十五組合長が四月三十日市長から表彰をうけました。

以下被表彰者は次のとおりです。

勤続十五年以上、坂井新栄（須戸3）、勤続三年、小川幹夫（下樋ノ内）笹川富一（上他門4）小林八重太（若松町1の1）小池幸平（中大口2）小柳なつゑ（城山2）海老名恒男（城山4）本田市作（稲荷浦）坂田要次郎（杉名町3の2）小林三千男（杉名町4）佐藤鐵男（前新田）佐藤高夫（新井郷3）松田芳一（川端町）柴野寅蔵（仏伝）丸山庄治（横井1）阿部勝（下早通3）馬場徳栄（木崎農協）曽我敏男（平林）後藤重衛（十二）曽我義三（山飯野）前田惣太郎（長戸呂）山田吉勝（大瀬柳）大沼幸作（川東上）高野仁一郎（浦木下）瀧澤誠洪（竹の通下2）

勲七等に 柳正一郎さん

春の叙勲で、柳正一郎さん（長戸・六九歳）が勲七等青色桐葉章を受章されました。

昭和四年から四十年十一月まで、三十六年間（消防副団長歴七年一カ月）防災活動に尽くされたことによるものです。

市長が中国視察

石井市長が、新発田市・北蒲原郡の市町村長とともに、中国視察の旅に出発しました。

中国の主な訪問先は、広州、鄭州、安陽、北京等で、現地では、日中友好協会との交流が計画されています。

訪中期間は五月十七日から二十九日までです。

なお、その期間、岩野助役が、市長職務代理者となります。

国税モニター

山尾吉郎さん（中町） 電話七ー二〇五八

県政モニター

渡辺喜久子さん（早通南三）

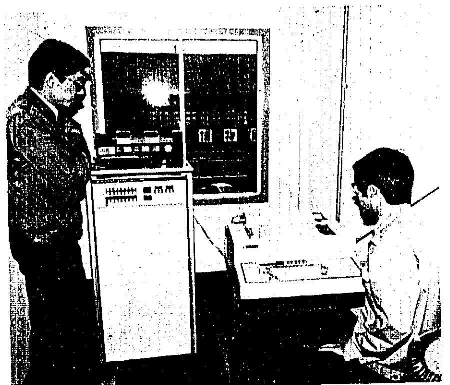
渡部圭子さん（若松町）

公害副監視局が作動開始

市役所二階の環境整備課の機械室に設置された、大気汚染副監視局が四月から作動しました。

この副監視局は、大気汚染物質の排出状況と環境濃度を二十四時間態勢で、常時監視するものです。新鋭設備費は九百十二万二千円で、東港の発電所と工場三か所、東港背後地十六か所（市内七か所）に設置された監視局から無線で県へ送信されたデータを電話回線で県から受信します。

なお、副監視局は、新発田市、加治川村、聖籠町にも設置されています。



▲常時24時間態勢の副監視局の新鋭設備を操作する市職員（市役所で）